

# 横浜市SDGs認証制度（Y-SDGs）supreme 取得

## 太陽油脂株式会社について

創業	1919年7月3日	※東京搾油(株)として
創立	1947年3月31日	
事業内容	食用加工油脂	ショートニング、マーガリン類、その他食用加工油脂および油脂加工製品の製造販売
	石けん・化粧品	家庭用・業務用石けん、シャンプー、ハミガキ類、化粧品の製造販売
	飼料	飼料用脂肪酸カルシウムの製造販売
所在地	〒221-0022	神奈川県横浜市神奈川区守屋町2-7
従業員数	237名	(2025年4月)

SDGsの「目標8」「目標13」「目標17」に貢献  
2020年10月に「Y-SDGs-superior」取得後、課題改善に注力し、2022年7月：「Y-SDGs-supreme」へランクアップ。



横浜市SDGs認証制度

**Y-SDGs**  
- supreme -



(横浜市SDGs認証制度 / 私たちは)持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

◆◆◆ こんなSDGsに取り組んでいます ◆◆◆



### 自然由来成分 環境にやさしい石けん、スキンケア製品



- 自然由来成分を使用することにこだわり、石けんやスキンケア製品作りを行っています。
- 石けんは生分解性が高く、生態系への影響が少ない洗浄剤です。 使用後の排水は、魚や微生物のエサになり自然に還っていきます。

\* ISO16128-1で定義された自然原料(水を含む)、自然由来原料を指します。



### 「女性と地球にスマイルを」



- コスメバンクプロジェクトのアドバイザリーボードに参加

※コスメバンクプロジェクト：化粧品の余剰品を経済的困難下にあるシングルマザーの世帯を中心に無償でお届けする。

COSME BANK  
PROJECT



### サステナブルスクール (石けん・RSPO・CO2削減教室)



- 「一個の石けんから地球環境を考える」と題し、身近な存在である石けんを通じて環境・社会・経済問題についての講義を行っています。
- 学校や省庁、自治体、NPO・NGOなどと協働し、工場見学時や出張授業において年間1000名以上に対して実施しています。



### 行政・団体とのパートナーシップ 「こども『エコ活』大作戦！」



- 「こども『エコ活』大作戦！」を応援・協賛しています。

横浜市内の小学生(4・5年生)が、夏休み中に様々な環境活動(省エネや生物多様性の保全、3Rなど)に取組み、SDGsの目標達成に貢献する活動です。



サステナビリティ  
詳細は[こちら](https://www.taiyo-yushi.co.jp/)

# 持続可能なパーム油への取り組み



食品や洗剤、シャンプーなど身の回りのたくさんのモノへ使われているパーム油。太陽油脂はパーム油を使用する企業として、2011年3月にRSPO正会員として加盟。2013年11月にRSPO SC認証を取得。

2015年2月からはRSPOの認証基準を満たした製品の販売を開始し、トレードマークを順次表示しています。2020年12月より製造する石けん・化粧品事業の自社製品へ100%、RSPO認証制度の利用を開始しています。(MB、B&C)



太陽油脂の製品への表示

## RSPOとは？



RSPO(Roundtable on Sustainable Palm Oil)とは日本語で「持続可能なパーム油のための円卓会議」といいます。パーム油の生産に関する環境や社会、経済の問題解決に取り組むことで、“持続可能性”のあるパーム油の生産と使用を推進している国際的な非営利組織です。

## 生産量世界一の植物油脂

パーム油とは、アブラヤシの実から採れる植物油脂です。現在、世界で一番多くつくられています。オレンジ色の果肉部分からはパーム油が、核と呼ばれる種子からはパーム核油が採れます。パーム油の主な生産地はインドネシアとマレーシアで、この2カ国で世界の生産量全体の約85%を占めています。日本は年間で約65万トン、一人当たり約5kgのパーム油を消費しています。(2022年実績)



アブラヤシの実

## パーム油の生産に伴う問題



生産量を伸ばしつつあるパーム油ですが、急速なパーム農園の増加と不適切な運営をしている農園により、その生産国や周辺の地域では自然林の伐採や火入れによる煙の被害、動物たちの住む場所が失われるといった環境問題が起きています。また企業と先住民の土地をめぐる紛争や、児童労働などの社会問題も発生しています。

## パーム油を使わなければいいの？

パーム油ではなく、他の植物油脂を使用すれば良いのではないかという意見もあります。しかし、他の植物油脂で同じ量の油を収穫するためには、何倍もの耕地面積が必要となります。またパーム油生産国では、パーム油産業を国の社会的・経済的発展の柱の一つとしています。そのため他の植物油脂へ置き換えた場合、環境面・社会面での新たな問題の発生を避けることができません。

大切なことは「パーム油を使わない」ことではなく、RSPOのような取り組みに参加して「パーム油をつくる方法を良いものにする」こと、そして「良い方法でつくられたパーム油を選んで使う」こと、太陽油脂は考えています。

